



庭園都市への提言 ~線路を芝生で敷き詰めて♪~

Text by 安藤 亮

■いよいよ今月20日(金)より「全国都市緑化おかやまフェア」(愛称:おかやま花だより 2009)が開催されます。岡山市西大寺のメイン会場を中心に、岡山城・後楽園のサブ会場、西川緑道公園・半田山植物園の協賛会場の5箇所での開催となります。

ところで全国都市緑化フェアって何?と思われる方もいらっしゃるかと思えます。

緑化フェアとは、花と緑をテーマとした地方博覧会で、1983年大阪府での開催を皮切りに、今回の岡山での開催が26回目となります。中四国地方では1997年の広島市以来12年ぶりの開催です。本博覧会の開催趣旨として「都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与する」という事が掲げられています。そこで今回の博覧会を機に、岡山の街づくりにどのように緑を活用していくかを考えてみましょう。

■「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」これが来月1日より政令指定都市に昇格する岡山市のキャッチフレーズです。庭園都市というキーワードは市中心部にある東洋一の庭園「後楽園」からきた表現だと思います。煌めく旭川のせせらぎの中に、眩い緑の芝生の庭園。本当に美しい空間だと思います。街全体が後楽園のようになれば・・・岡山市全体を見ると今でも十分、緑は豊かだと思います。しかし街の中心部はどうでしょうか。ビルやマンションが増え賑わいはありますが、潤いがやや不足していませんか。後楽園や西川緑道公園などもあります。コンクリートジャングルの中にもっと緑が欲しいと思いませんか。庭園都市を実感する為にもっともっと緑があっても良いのではないのでしょうか。

■街づくりに緑を活用するひとつの手段として、路面電車の芝生軌道化を提案したいと思います。芝生軌道化とは、路面電車の線路に芝生を敷き詰めるというもの



路面電車の芝生軌道化

- 街の景観が美しくなる。
→街中心部の魅力UPによる活性化。

- 騒音の低減。
→地域住民の生活環境満足度(住ごし良さ)の向上。

- ヒートアイランド現象の緩和。
→地球環境問題対策。

です。この芝生軌道は、パリやチューリヒなどのヨーロッパ諸国、日本では鹿児島市や高知市などで採用されています。芝生軌道化を実施する事により、大きく3つの効果があります。

- ・街の景観が美しくなる。
→街中心部の魅力UPによる活性化。

- ・ヒートアイランド現象の緩和。
→地球環境問題対策。

- ・騒音の低減。
→地域住民の生活環境満足度(住ごし良さ)の向上。

実際に芝生軌道を採用した高知市、鹿児島市の市民アンケートによると86%以上の方が、実施を評価し、今後の推進にも賛同されているらしいです。また街の景観・魅力の向上により来街者が増加し、街の活性化にも一役買っているという声もあります。街を元気にし、見た目にも環境にも優しいという芝生軌道はまさしく魔法の緑のカーペットです。

例えばこの緑のカーペットを、岡山駅から後楽園(城下電停)まで敷き詰める事が出来れば、桃太郎大通りが美しい庭園に大変身し、岡山駅から後楽園を結ぶ

プロムナードロードとなります。駅を降り立った人々は目と肌と匂いで庭園都市岡山を実感できるのではないのでしょうか。

■後楽園は、今から約300年前、岡山藩主池田綱政の時代に造られ、藩主の静養、賓客接待の場としても使われた庭園です。また近代では皇室の方々もお泊りになられるなど、昔から岡山の「おもてなし処」としての重要な役割を担ってきました。これからは緑化フェスティバルの開催を機に、路面電車の芝生軌道化などの緑化整備事業に重点を置き、街全体が緑を活用した「おもてなし処」となるような街づくりも必要だと思います。

芝生軌道化を実施するには、整備費用や維持管理費用などの財源の課題があるのも事実です。ただ私たちは、前世の先輩方の努力により後楽園という美しい庭園の贈り物をいただきました。今度は私たちが美しい庭園都市をつくり、後世の人達への贈り物とする時期(とき)ではないのでしょうか。

岡山で緑化フェスティバルが開催されるせっかくの機会です。まずは緑の美しさ・優しさ・尊さを感じ、緑化フェスティバルに足を運んでみてはいかがでしょうか?公共交通を利用して。

京橋にアート現る。

.....京橋/ART村プロジェクトスタート.....

RACDA 事務局

〒700-0823 岡山市丸の内 1-1-15(禁酒会館 3F)

TEL/FAX 086-232-5502 E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/

RACDA 事務局 wiki

検索